

総会第二部 合唱構成ミュージカル 「はしれぞう列車」 参加者の 声 声

〈こどもたちの声〉

今日は、今まで歌った中で一番よかったと思っています。それに、お母さんたちといっしょに歌えたのもよかったと思います。私は、2年生以来歌ったことがなかったので、すごく楽しかったです。それに、だんだんバージョンアップしてきて、すごく迫力がありました。私は、ぞうれっしゃをやってよかったと思っています。また、3月に歌えたら歌いたいと思っているから、もしやるんだったら、ぜひぜひ教えて下さい。小5 W・M

4月から始めて、第1回では終わりの言葉をやらせてもらいましたが、1回だけではもったいないなと思っていたら、第2回もあると聞いて、やったーと思いました。9月1日は本気を出してやりました。とてもよかったです。やり終わって、これで終わりかと思ったら、第3回もあるかもと言っていたので、ぜひやってほしい。第3回といわず、第4回もやってほしいなと思います。9月1日はとても上手にできたと思ったのですが、お父さんが写真をあまり撮ってくれなかったのです。小5 M・S

昨日は、とても楽しかったです。ちょっとまちがっちゃいました。私は、2年生以来歌っていません。でも「ぞうれっしゃ」歌ってよかったです。1年生のとき、今は6年生だけど、6年生が2年生のときに歌ってくれました。練習から本番まで楽しくて、練習の日が楽しかったです。昨日は心にのこりました。笠原先生、昨日はありがとうございました。小5 R・S

〈大人の声〉

初めて図書館で「ぞう列車」を聞いて、私も是非歌いたいと今回の演奏に参加させて頂きました。子どもたちの歌声がはじめて響き、「ぞうれっしゃ」を歌う喜びにあふれていました。私も感動しながら一生懸命歌いましたが・・・足が棒のようになり、倒れないよう懸命にふんばりました。



我が夫は「殺せ、殺せ」の軍人役でした。家でCDを聞きながら練習するのですが、大声で「殺せ、殺せ」と怒鳴るので、ご近所に聞こえはしないかとハラハラでした。我が夫ながら、あまりの迫力にとてもこわかった。でも、やるときはやる…役ですから。皆さん、有り難うございました。山口 喜久子（中爪）

歌うって楽しい！ましてや子どもと一緒に一つの舞台に立てるのだから、こんな機会はめったにないことだ。そして、絶対に会う（知り合う）こともなかったであろう方たちと、ともに練習に励み、40分もぞう列車に乗ってしまった。（またしても笠原先生に乗せられてしまった！）微力だけれど、こうやって平和の願いを歌えたこと、1/100の力になったことを、とても誇りに思える。何より、子どもたちの歌声はすばらしかった。各地でぞう列車は歌われているようですが、世界中にひびけ！ぞう列車。瀬田 多美子（角山）

我が家のこの4ヶ月は毎土曜日の練習、家族で出かける時の車の中はいつも「ぞう列車」の曲が流れていたり、仕事中でもなぜか頭の中に「♪ぞう列車よ～いそげ～♪」などと曲がつい流れていたり、本当に「ぞう列車」一色でした。しかし、家族でこれだけ1つの事に集中するのも悪くないなどと感じています。短く暑い夏でしたが今年の夏はみなが一つの目標に向かって集中できた夏でした。橋本 辰夫（小川）

私たちが「おがわまち九条の会」の役員です

本「九条の会だより」では、毎回皆様からのメッセージや声を紙面に掲載しております。特に、ご自身の戦争体験や、平和についてのお考えを私どもまでお寄せください。また、会員を増やしたら、私たちにご連絡ください。

〈代表委員〉新井喜代美(腰越) 豊嶋久子(大塚) 長尾邦弘(小川) 西田一雄(みどりが丘) 松本栄二(みどりが丘) 〈運営委員〉天田英男(大塚) 大日方安郎(東小川) 遠藤真知子(東小川) 笠原 武(飯田) 菊池恵子(小川) 君島小夜子(大塚) 黒澤泰彦(小川) 黒澤幸江(増尾) 桜井 薫(角山) 東海林阿佐子(増尾) 鈴木秀尚(東小川) 富田和朗(靱負) 永島善太郎(上横田) 藤村吉則(小川) 柳田 智(高谷) 輪湖 昇(角山) 渡辺礼一(木部) 五十音順

第三回 総会のご報告

2007.9.1

おがわ町九条の会では、9月1日(土)パトリアおがわふれあいホールを会場に第三回総会を開きました。第一部「総会」、第二部記念公演「はしれぞう列車」のプログラムでした。「総会」で決定したことや、第二部の様子を当日のアンケートや写真を中心にお知らせします。

活動方針

I 活動を進める基本的考え

私たちは、これからの一年間、昨年の活動の経験を活かしつつ、つぎのことを基本に据えて運動します。

- ① 『憲法9条を守る』一点で統一すること大切にします。
- ② 憲法9条の改憲案について、仮に国民投票があっても有権者の過半数をとることを目指します。
- ③ 勉強しながら賛同者を増やします。
- ④ 持続的な会員拡大と「9条の会アピール」賛同署名を新たな勢いで取り組みます。

II 一年の大まかな方針

- ・ 会員の持続的拡大を図ります。合わせて「9条の会アピール」賛同署名を町内を中心に町外からも集める運動に取り組みます。
- ・ ニュースを毎月発行するよう努め、会員や町内の「アピール賛同者」に届けます。
- ・ 重要ニュースは全戸(とりあえず6,000戸)配布を念頭に体制確立をめざします。
- ・ 9の日行動 小川町・竹沢駅頭での早朝ピラマキを継続します。
- ・ 小川の特徴を生かした、リレートーク・町民コンサートを継続し、また、新しい企画を始めることも考えます。
- ・ 07年秋は、情勢を踏まえた形で勉強・講演会を開きます。

〈解説〉今年度は、会員の拡大だけでなく、「9条の会アピール」賛同署名を町内を中心に町外からも集める運動に取り組みます。また、情勢を踏まえた形で勉強・講演会を開きます。まず、秋には憲法9条の持つ意義と果たしている役割について、元防衛庁教育局長で現在加茂市長の小池清彦氏を講師に学習会を開く予定です。

小さな町に、大きく響け、平和の歌声「はしれぞう列車」

飯田 笠原 恵子

5年前、一つの教室で、子供と、父母と、教師の心を熱く燃やした、「ぞう列車」の歌。響きわたる、生き生きとした歌声が、次の年、その次の年の子供達の心に、灯をともし、歌い継がれた。「あの時、1回だけで終わりにするのはもったいないと、皆思っていたのよ。」今回も参加して下さったお母さんたちの言葉。7月の第1回発表の時、中一になった当時のクラスの過半数の親子が参加して下さった。その訳がそこにあった。教師をやめて、3年目、大きく成長した教え子たちと、毎土曜日に、練習会場で会える嬉しさ。ともに、同じ思いを共有できる楽しさ。これ以上の喜びがあるだろうか。当初は、「子供が20人集まってくれば」と思って始めた。ところが、人が人を呼び、練習を重ねるたびに、40人、50人、70人と増え、9月1日の第2回発表時には、120人を超えた。部活動の都合で、欠席もあったが、お母さんだけでもと駆けつけてくださる人もいた。300席を前にしたステージ。会場設営にかかわる人たちの徹夜の努力などなどに励まされ、出演者は練習の成果と、熱い思いを十分に、舞台上で発揮できた。年長の子から、70代まで、老若男女が、心一つにして歌う。「その歌声に涙した。」「感動だった。」「この町の宝だと思った。」などたくさんうれしい感想が寄せられた。この歌を歌う時、「動物の悲劇は人間の悲劇に直結する。どう取り繕っても、戦争を是とする理由にはならない。人の心に、元気と勇気を与えてくれる、この子供達の明るい張りがある声を、決して、曇らせてはならない。」と強く思う。

(編集部注・「うたごえ新聞」に投稿したものを転載させていただきました)



総会第二部 合唱構成ミュージカル 「はしれぞう列車」

105名の歌声に感動のあらし!

朝日新聞(9/2)に大きく報道